

ロンドン五輪に向けた強化戦略

キーワード「選択と集中」
「マルチサポート」

2011年3月12日

財団法人 日本セーリング連盟
オリンピック特別委員会

ロンドン五輪の目標

- ・1つ以上のメダル獲得
470級男子/女子、RSX級男子
- ・複数の入賞
RSX級女子、49er級、STAR級
- ・全クラス出場
レーザー級、ラジアル級

オリ特重点方針

1. ロンドンオリンピックでのメダル獲得と複数種目入賞
2. 選手が強化活動をスムーズに行える環境の整備と体制造り
3. 事業別予算・実績管理の徹底と効率的な資金計画・運用
4. JOCゴールドプランに基づく次世代を担う選手の育成・強化

2011年の取り組み

I .「選択と集中」の加速

II . マルチサポートの有効活用

III . パースでの全種目参加枠獲得

I . 「選択と集中」の加速

ロンドン五輪開会式まで500日強となった2011年
 勝つ可能性のある種目・選手へ重点的な海外遠征
 補助を行う

【具体的補助内容】

470級男子					
順位 補助大会	プレ オリンピック	ISAF World	ヨーロッパ等		
			海外遠征1	海外遠征2	海外遠征3
選考レース1位	◎	◎	◎	◎	×
2位	×	◎	◎	◎	×
3位	×	◎	◎	×	×
4位	×	◎	◎	×	×
5位	×	◎	◎	×	×

470級女子					
順位 補助大会	プレ オリンピック	ISAF World	ヨーロッパ等		
			海外遠征1	海外遠征2	海外遠征3
選考レース1位	◎	◎	◎	◎	◎
2位	×	◎	◎	◎	◎

RS:X級男子					
順位 補助大会	プレ オリンピック	ISAF World	ヨーロッパ等		
			海外遠征1	海外遠征2	海外遠征3
選考レース1位	◎	◎	◎	◎	×
2位	×	◎	×	×	×
3位	×	◎	×	×	×

RS:X級女子					
順位 補助大会	プレ オリンピック	ISAF World	ヨーロッパ等		
			海外遠征1	海外遠征2	海外遠征3
選考レース1位	◎	◎	◎	◎	×
2位	×	◎	◎	×	×

レーザー級					
順位 補助大会	プレ オリンピック	ISAF World	ヨーロッパ等		
			海外遠征1	海外遠征2	海外遠征3
選考レース1位	◎	◎	◎	◎	×
2位	×	◎	×	×	×
3位	×	◎	×	×	×

ラジアル級					
順位 補助大会	プレ オリンピック	ISAF World	ヨーロッパ等		
			海外遠征1	海外遠征2	海外遠征3
選考レース1位	◎	◎	◎	◎	×
2位	×	◎	×	×	×

49er級、スター級					
順位 補助大会	プレ オリンピック	ISAF World	ヨーロッパ等		
			海外遠征1	海外遠征2	海外遠征3
選考レース1位	◎	◎	◎	◎	×

2011年ナショナルチーム主要海外遠征予定

1. イエールオリンピックウィーク 4月 フランス・イエール
 2. ガルダエキスパートレガッタ..... 5月 イタリア・ガルダ
 3. デルタロイドレガッタ..... 5月 オランダ・メデンプリック
 4. セールForゴールド..... 6月 英国・ウエイマス
 5. オリンピッククラス合同ヨーロッパ選手権・・6月 フィンランド・ヘルシンキ
 6. プレオリンピック..... 8月 英国・ウエイマス
- 大会前の事前現地合宿を含む
7. ISAFワールド・ 12月 オーストラリア・パース

Ⅱ. マルチサポートの有効活用

マルチサポート事業とは
2012年ロンドン五輪、2014年ソチ冬季五輪
において、日本が世界の強豪国に競り勝ち、
より確実にメダルを獲得するために、トップレベル
競技者などのメダル獲得が期待される競技
に対して、多方面からの専門的かつ高度な支援を
文部科学省が戦略的・包括的に行う事業
22年度予算：17億8千万
23年度予算：22億

JOC競技団体ランク

セーリング ⇒ Bランク1位

JOCは毎年競技団体のオリンピック、世界選手権大会等の実績、強化戦略の策定状況、一貫指導システム（次世代選手の育成）の推進状況等を査定し競技団体を特A～Dランクまで格付

2011年度競技団体ランク（抜粋）

特Aランク ⇒ 柔道、水泳、レスリング、スケート 4団体

Aランク ⇒ 体操、陸上、スキー、サッカー 4団体

Bランク ⇒ **セーリング**、バレー、卓球 以下11団体

Cランク ⇒ バスケット、自転車、カーリング 以下14団体

Dランク ⇒ 11団体

**『チーム「ニッポン」マルチサポート事業』
平成22年度ターゲット競技**

	競技名		対 象		
夏 季 競 技	◎陸上競技		トラック	4× 100mリレー	男子
				マラソン	女子
			フィールド	投てき	男子
	水泳	競泳			男子、女子
		◎シンクロ			女子
	体操競技	体操			男子、女子
		トランポリン			男子
	レスリング				男子、女子
	◎セーリング		470級		男子
	◎自転車		トラック		男子
	フェンシング		フルーレ		男子
	柔道				男子、女子
	カヌー				女子
	◎アーチェリー				男子、女子
	トライアスロン				女子
冬 季 競 技	計 13競技				
	スケート	◎スピード			男子、女子
		◎フィギュア			男子、女子
	計 2競技				
	合計 15競技				

※ ◎印は、新規指定の7 競技。

セーリングに対するマルチサポート内容

・22年度決定項目

1. VSR5. 8ボート5隻購入 ⇒ ウエイマス風向調査

＊別途、同地の潮流調査をtoto助成で20年から実施中

2. 470艇体4艇購入 ⇒ 470級の性能解析

3. ウエイマス練習マリーナ常設風向計設置

4. JISSへの人員配置 ⇒ マルチ推進企画担当

5. 選手のコンディショニングサポート

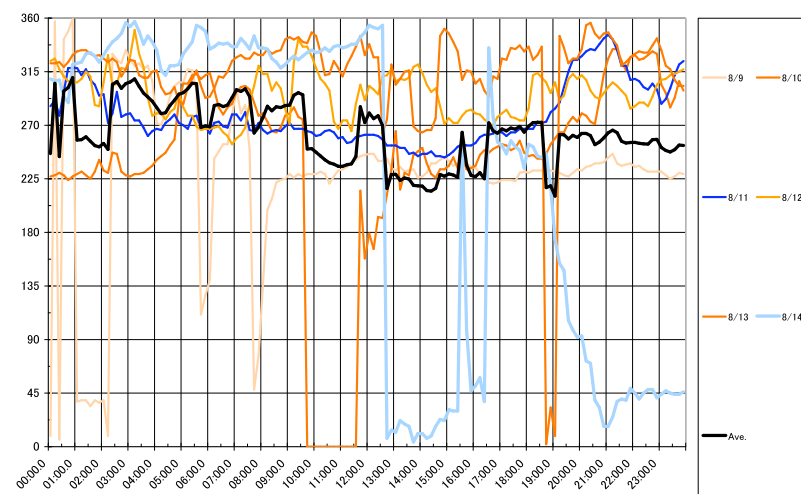
・23年度以降予定

1. 470級マスト、セールの研究・開発

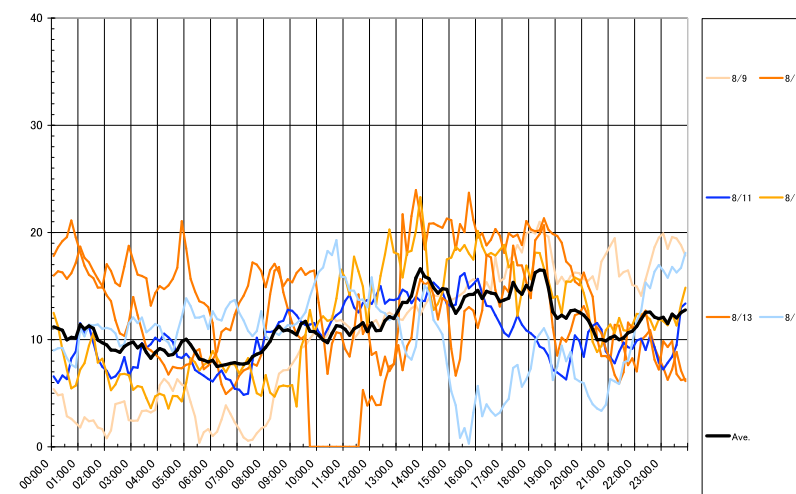
2. JISSへの人員追加配置 ⇒ マルチ推進マネジメント担当

3. 五輪本番時のセーリングサポートハウス設置

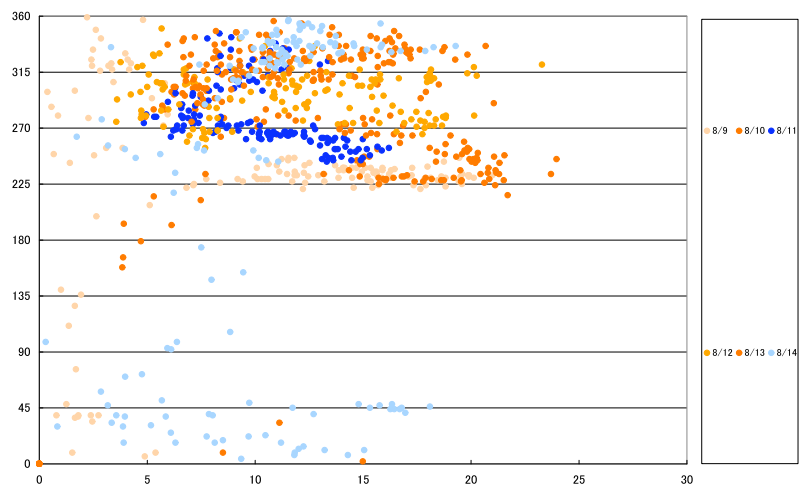
ウェイマスの気象(風傾向調査)



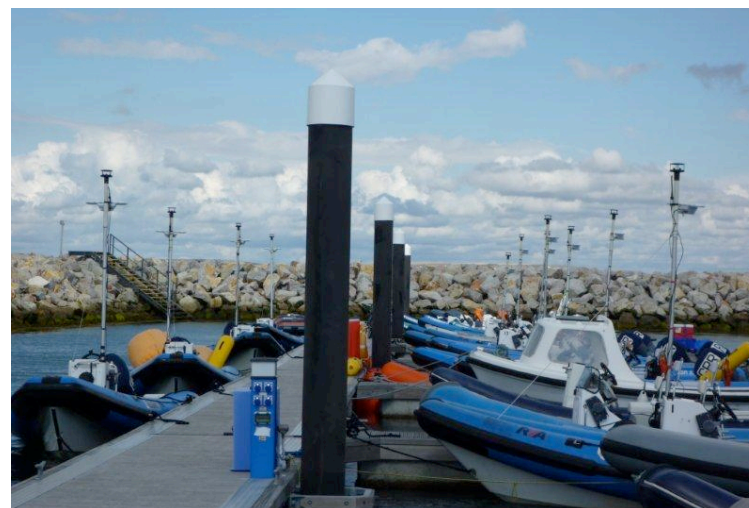
風向×時間



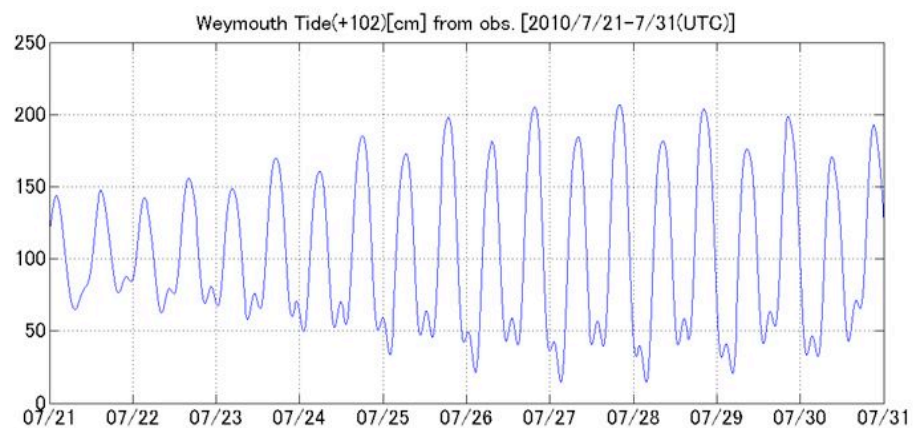
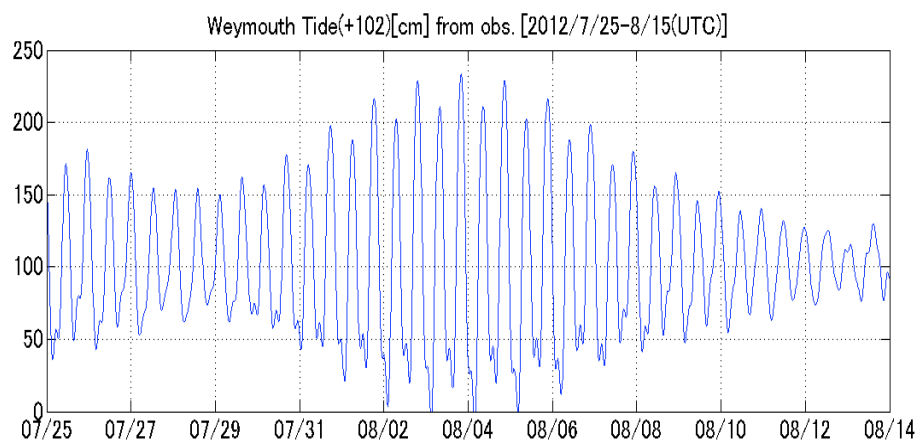
風速×時間



風向×風速



ウェイマスの潮流調査



「あめんぼ（調査艇の名前）」を曳航船（ゴムボート）にアウトリガーをつけて引く。あめんぼの中央ハル部分にADC P測定装置が取り付けられている。ADC Pからのデータはケーブルで曳航船のPCへ読み込み記録を行った。位置測定のGPSデータとPC上でシンクロさせている。曳航船に風向・風速の測定装置がついている。データはロガーに記録。

470級競技艇の性能解析

GPS、オンボードカメラでのスピードテスト解析GPS、オンボードカメラでのスピードテスト解析

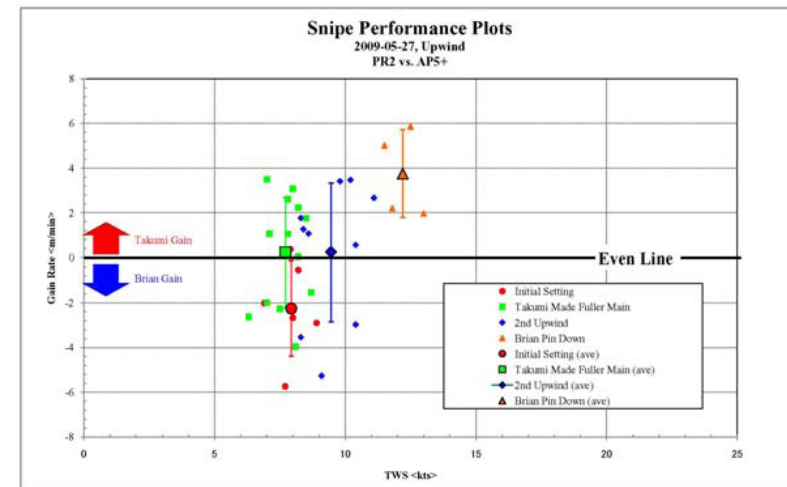
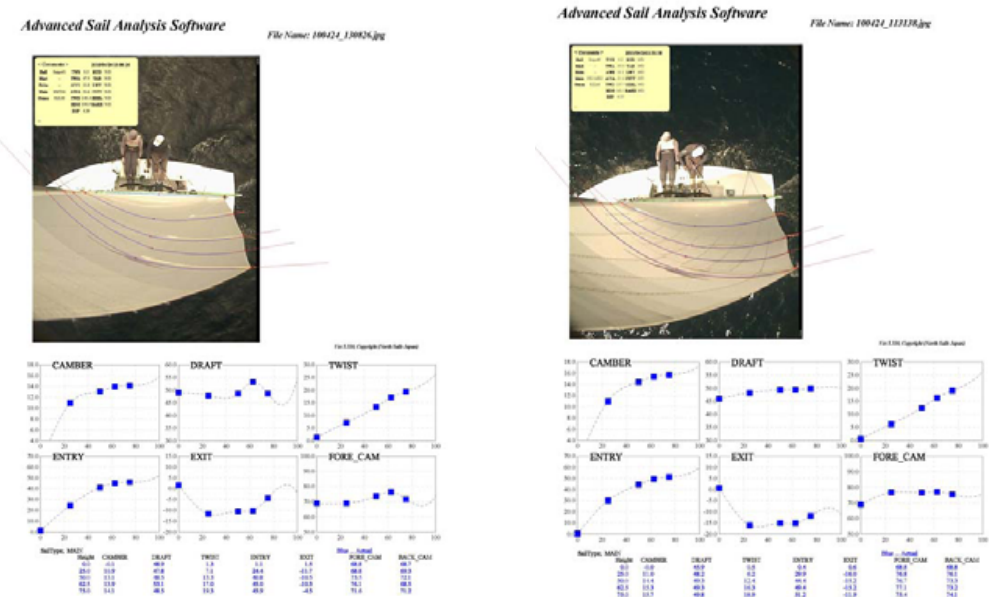
テスト結果はいろいろな方法で解析され、比較されるが、ここでは、

①セールの形状の比較

同じタイミングでとられたセールの形状とパフォーマンスを比べ、優劣を見極める。

②性能の比較

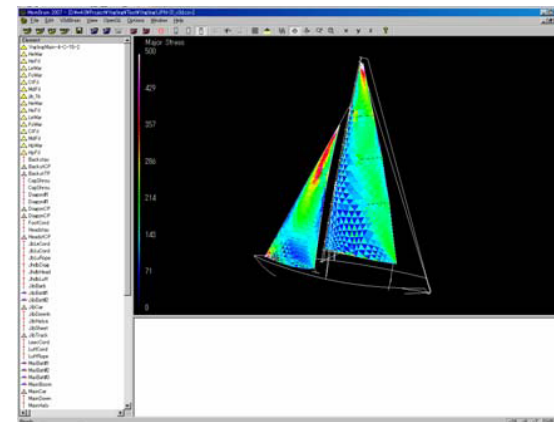
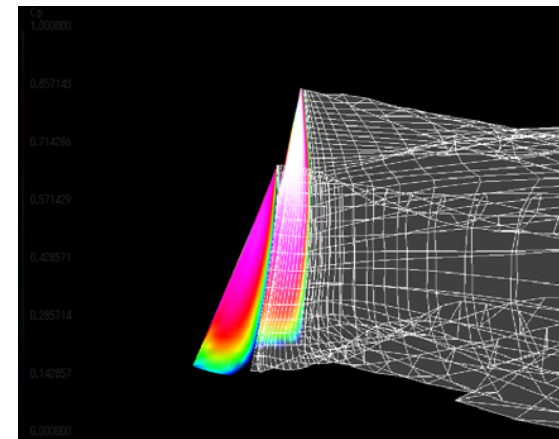
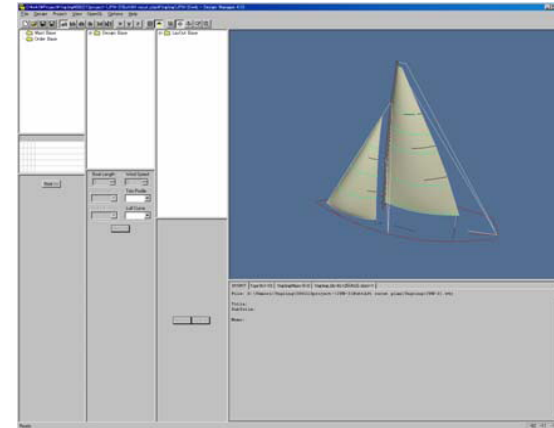
3分程度の直線を2艇で走り、その時の性能差をプロットし、それぞれのコンフィグレーションでの優劣を見る。



470級のマスト&セール研究・解析 セールの開発 セールの開発

コンピュータ上で、忠実に再現されたモデルを使ってシミュレーションを行うことで、実際に製作するよりも、多くのセールについてテストする。
ここでの手順は、上から

- ①マスト、シート、セールの形状、位置関係など、現物に沿った形で忠実にコンピュータ上に再現する
- ②再現されたモデルに、実際と同じように風を当てて、セールにかかる力を計算する。
- ③計算されたセールにかかる力を元に、マスト、セールの変形を計算する。
- ④変形した形状に再び、風を当て、セールにかかる力を計算する。
- ⑤答えが求まるまで、③と④の仮定を繰り返す。



470級のマスト&セール研究・解析 セールの製作&テスト セールの製作 テスト

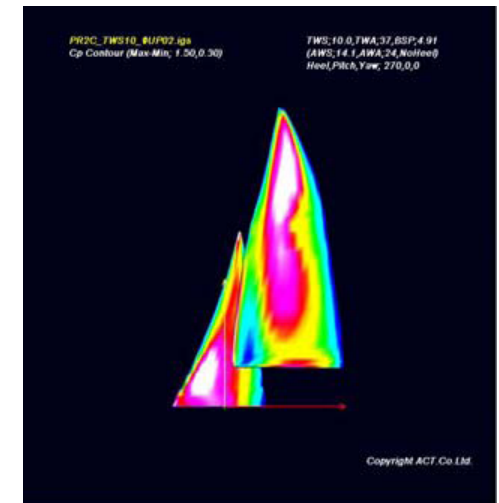
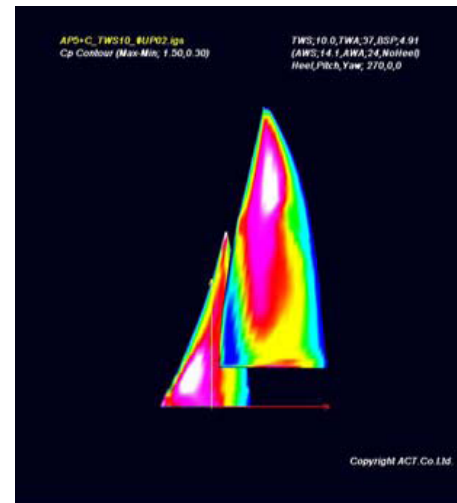
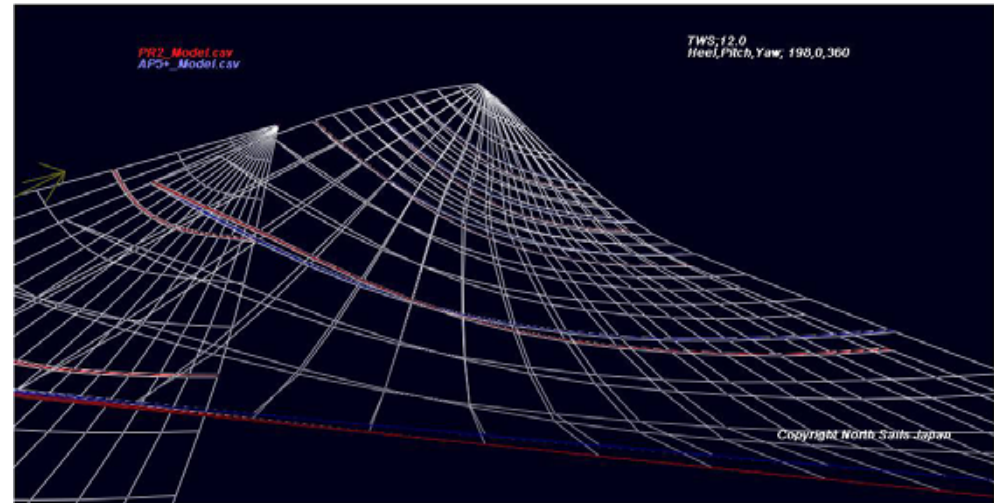
コンピュータシミュレーションの結果を基に、絞り込んだいくつかの候補となるセールを実際に製作し、海上でテストする。
海上では、2ボート以上のレース艇を用いて、セールの優劣を比較する。

右の図は、

① 2艇の航跡を比較して、このテストでの性能の優劣を比較している。

② このときのセールの違いを再現したもの。

③ セールの形状の違いによって、発生している推進力の違いを、CFD (Computational Fluid Dynamics) という手法を使って比較している。



Ⅲ.オリンピック参加国枠獲得

2012年ロンドンオリンピック種目別参加艇数

<2011年パースISAF世界選手権国枠数および2012年種目別世界選手権国枠数と開催時期・場所>

【参考】

種 目	参加艇数			参加者数	国 枠 数		2012年世界選手権		2008北京大会		
	開催国	他NOC	小 計		2011年 (75%)	2012年 (25%)	開催時期	場所	参加艇数	増減	種目変更 (旧種目)
RS:X男子	1	37	38	38	28	9	2月9日～17日	スペイン・カジス	35	+3	
RS:X女子	1	27	28	28	20	7			28	+1	
レーザー	1	47	48	48	35	12	5月初旬	ドイツ(キールとトラヘンミュンデの間)	40	+8	
レーザーラジアル	1	38	39	39	29	9	5月下旬	ドイツ(キールとトラヘンミュンデの間)	26	+13	
470男子	1	26	27	54	20	6	5月10日～19日	スペイン・バルセロナ	30	▲3	
470女子	1	19	20	40	14	5			19	+1	
49er	1	19	20	40	14	5	5月4日～13日	クロアチア・ザダール	19	+1	
スター	1	15	16	32	11	4	5月20日～30日	フランス・マルセイユ	16	0	
フィン	1	24	25	25	18	6			26	+1	
エリオット6	1	11	12	36	8	3			0		新種目
イングリング	0	0	0	0	0	0			15		種目変更
トーネード	0	0	0	0	0	0			16		々
合 計	10	263	273	380	197	66			270	+3	

参加選手数 401名

ロンドンオリンピック日本代表候補選考基準

項 目	選 考 内 容 等			
1. 共通事項	1. 最終選考については各クラス協会が原案を作成、オリンピック特別委員会がそれを取り纏め、各クラス協会会長と協議のうえ決定、2010年1月23日(土)JSAF理事会の承認を得て公示 2. 参加国枠を獲得したクラスについては、オリ特よりJSAF理事会に推薦、JSAFよりJOCに対してオリンピック参加を推薦する 3. 各クラス共、クラス協会から推薦された選考レース最上位者を2012年ロンドンオリンピック代表選手候補(チーム)として、オリンピック特別委員会よりJSAF理事会に推薦し、その承認を得てJOCに推薦する			
種目	470級男女	レーザー級男子、レーザーラジアル級女子	RS-X級男女	49er級、スター級
2. 個別艇種別事項	1. 2011年オリンピック代表候補選考大会および代表候補選手(チーム)の決定			
	(1)選考大会:2011年ISAF Sailing World Championships(2011年12月3日～18日:オーストラリア・パース)			
	(2)代表候補決定基準:以下成績を収めた選手(チーム)を代表候補とするが2012年種目別世界選手権の成績によりそれを変更する場合がある			
	・男子:総合成績15位以内または国別順位10位以内 ・女子:総合成績12位以内または国別順位10位以内 を収めたナショナルチームの最上位チーム (3)選考大会派遣チームおよびチーム数 ①派遣チーム:2011年ナショナルチームとする ②派遣チーム数:男子5チーム、女子4チーム なお、①派遣チームについて、2011年ナショナルチームの内 選考レースの男子4位、5位および女子4位のチームは 指定大会でナショナルチームの入れ替えを行い、再度 ナショナルチームを認定する。 (指定入替え大会は別途公示する) 【代表候補の変更基準】 2011年世界選手権にて代表候補が決定した場合でも、2012年世界選手権において代表候補以外のチームが総合成績3位以内の成績を収め(複数存在する場合は上位のチーム)かつ2011年決定の代表候補チームが以下2項目のいずれの成績も収めなかった場合には、代表候補を入れ替えることとする。 ①国別順位8位以内 または ②総合成績15位以内	・レーザー級、レーザーラジアル級 決定基準:国別順位15位以内の成績を収めた最上位選手 (3)選考大会派遣選手および選手数 ①参加選手:2011年ISAF sailing world Championships参加権利獲得者 ②参加選手数:ISAFより与えられた参加枠 【代表候補の変更基準】 2011年世界選手権にて代表候補が決定した場合でも、2012年世界選手権において決定以外の選手が国別10位以内を収め(複数存在する場合は上位の選手)かつ2011年決定の代表候補が以下の成績を収めなかった場合には、代表候補を入れ替える事とする。 ・国別順位:レーザースタンダード20位以内 レーザーラジアル(女子)15位以内 決定基準を満たさず、国順位16位～25位以内の成績をおさめたレーザースタンダードの選手、国別順位16位～20位以内の成績をおさめたラジアルクラスの選手に以下の資格を与える。 ・2012年世界選手権参加枠……2011年大会成績上位者から参加枠が付与される(レーザークラス協会より) ＊ILCA配分の参加枠内とする ・2012年NT資格 ……上記世界選手権参加枠保持者に対し2012年NT資格を与える ＊2012年度NT数に準ずる	・男子、女子:総合成績20位以内または国別順位12位以内を収めた2011年ナショナルチーム最上位選手 (3)選考大会派遣選手および選手数 ①派遣チーム:2011年ナショナルチーム選手 ②派遣選手数:2011年男女ナショナルチーム数 【代表候補の変更基準】 2011年世界選手権にて代表候補が決定した場合でも、2012年世界選手権において代表候補以外の選手が国別順位8位以内を収め(複数存在する場合は上位の選手)かつ2011年決定の代表候補選手が以下の成績を収めなかった場合には、代表候補を入れ替えることとする。 ・国別順位15位以内	・49er級、スター級:オリンピック参加枠を獲得し、かつ日本選手最上位成績を収めたチーム (3)選考対象チーム:日本国籍を有し、かつJSAF会員および両艇種別協会の会員である事 【代表候補の変更基準】 【スター級】 2011年に代表候補チームが決定していても2012年世界選手権大会において代表候補以外が国別成績で3位以内または総合成績で5位以内の成績を収め、かつ代表候補チームの総合成績を上回った場合は2011年の代表候補を変更する事とし、新たに国別成績3位以内または総合成績5位以内を収めたチームを代表候補とする 【49er級】 2011年に代表候補チームが決定していても2012年世界選手権大会において代表候補以外が国別成績で5位以内または総合成績で8位以内の成績を収め、かつ代表候補チームの総合成績を上回った場合は2011年の代表候補を変更する事とし、新たに国別成績5位以内または総合成績8位以内を収めたチームを代表候補とする
	2. 2012年オリンピック代表候補選考大会および代表候補の決定			
	2011年選考大会(ISAF Sailing World)でオリンピック代表候補選手(チーム)が決定しなかった場合は以下の大会で選考を行い代表候補選手を決定する(国枠獲得が未達クラスはその獲得を含む)			
	(1)選考大会:2012年470級世界選手権大会 (2)代表候補:参加ナショナルチームの内、総合成績で最上位の男女チーム (3)選考大会派遣チームおよびチーム数 2011年ISAF Sailing World Champion Ships 参加日本チームの内、男女各上位3チーム	(1)選考大会:2012年レーザー級・ラジアル級女子世界選手権大会 (2)代表候補:参加選手の内、総合成績で最上位の男女選手 (3)選考大会参加チームおよびチーム数 ①参加選手:2012年レーザースタンダード・レーザーラジアル(女子)世界選手権大会参加権利獲得者 ＊上記選考大会はオリンピック特別委員会および日本レーザークラス協会より別途公示 ②参加選手数:ILCAより与えられた世界選手権大会参加枠数	(1)選考大会:2012年RS:X級世界選手権大会 (2)代表候補:参加ナショナルチームの内、総合成績で最上位の男女選手 (3)選考大会派遣チームおよび選手 ①派遣選手:2011年ナショナルチーム選手 ②派遣選手数:2011年男女ナショナルチーム数	(1)選考大会:2012年49er級、スター級世界選手権大会 (2)代表候補:参加チームの内、総合成績で最上位のチーム (3)選考対象チーム:日本国籍を有し、かつJSAF会員 および両艇種別協会の会員である事
	3. 2012年ナショナルチーム選考会			
	(1)実施しない ナショナルチームの入れ替えを前述の通り実施	(1)2011年選考(ISAF Sailing World)国別成績15位以内の成績を収めた選手を2012年NTとする。 (2)該当者がNT数を上回った場合、上位者からNTとしNT選考レースは行わない (3)該当者がNT数を下回った場合はナショナルチーム選考レースを実施(2012年2月～3月予定) ＊2012年レーザー級、ラジアル級女子ナショナルチーム選考レースについては別途公示	(1)実施しない 2011年ナショナルチームの認定を受けた選手は、2012年ナショナルチーム選手として継続認定する 但し、2012年世界選手権大会が予定されている2～3月より大幅に遅れる場合はナショナルチーム選考レースを開催し、2012年ナショナルチームを新たに認定する場合がある	(1)実施しない
4. その他	選考指定大会へはJSAFオリンピック特別委員会委員および各艇種別協会委員が帯同し、公正な選考であった事を確認する			
3. オリンピック特別委員会において強化対象種目としていない艇種(フィン、エリオット6)	<共通事項> 2. および3. に同じ <個別事項> 1. 国枠を獲得した場合はオリンピック特別委員会において代表選考が公平に実施された事を確認後、JSAF理事会に推薦、JSAFよりJOCに対してオリンピック参加を推薦する			

IV.その他

2016年オリンピック艇種について

2010年11月開催のISAF会議で2106年オリンピックにおいて470級は男女MIXで実施の提案がされたのを受け、河野副会長を中心に国際470協会（会長が来日）、日本470協会、国際委員会およびオリ特で協議、以下の提案《Submissions》を作成、3月7日ISAFに送付した

2011年5月ISAF会議で決定される

2010年11月のISAF提案(仮決定された種目)

Event	Men	Women	Mixed
Board or KiteBoard	Evaluation	Evaluation	
One-Person Dinghy	Laser Standard	Laser Radial	
2 nd One-Person Dinghy	Finn		
Two-Person Dinghy (Spinnaker)			470
Skiff	49er	Evaluation	
Keelboat Match		Elliott 6m	
Multihull			Evaluation
Total Events	4	4	2

Total Athletes in full team:

16

Male / Female Gender balance in full team:

7 Male / 9 Female Athletes

ISAFに提出した日本の提案 (Submission)

Event	Men	Women	Mixed
Board <u>and/or</u> KiteBoard	<u>RS:X / KiteBoard</u> (Evaluation)	<u>RS:X / KiteBoard</u> (Evaluation)	
One-Person Dinghy	Laser Standard	Laser Radial	
2 nd One-Person Dinghy	Finn		
Two-Person Dinghy (Spinnaker)	470	470	
Skiff	49er	Evaluation	
Two-Person Multihull			Evaluation
Total Events	5	4	1

Total Athletes in full team:

15

Male / Female Gender balance in full team:

8 Male Athletes / 7 Female Athletes

五輪に向け選手、スタッフともに
奮励努力いたします所存であり、
皆さまの変わらぬご支援、
ご声援をお願いもうしあげます。